

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	文観 - 6	鎌倉芸術館大規模修繕等事業	☐ 法定受託事務
所管課	文化観光部 文化課	評価者	文化課長 鋤柄 雅之
一般	会計	款 10	項 5
総合計画上の位置付け	分野名	暮らしの共創	施策の方針名
			芸術文化

1 事業の目的

対象	市民等	意図	鎌倉市の芸術文化の拠点である鎌倉芸術館の機能を発揮できるように、施設・設備の大規模修繕実施により予防保全を図るため。
効果	予防保全により施設・設備の良好な維持を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（予定）
事業工程	事業の実施無し	非常用発電機制御盤等修繕、低圧配電盤等修繕	未定
予算額（千円）	0	121,836	
国県支出金			
地方債		107,400	
その他			
一般財源	0	14,436	0
当初人員配置数	0.4	0.5	0.0
人件費（千円）	3,415	4,413	0
事業実績	事業の実施無し		
決算額（千円）	0		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	0	0	0
人員配置実績数	0.4	0.0	0.0
人件費（千円）	3,313	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名					（上段実績、下段経費（千円））		
活1	実績につながる活動							

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・ 令和7年度は実施した修繕がなく、修繕実施内容が年度ごとに大きく異なるため、指標の設定は馴染まない。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・ 修繕実施内容が年度ごとに大きく異なるため、指標の設定は馴染まない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☒ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☒ 導入予定	☐ 導入できない
		評価実施年度の方向性 ⇒	評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☐ 事業内容は現状通り ☒ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☐ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☒ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 鎌倉芸術館管理運営 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☐ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☒ 予算規模を縮小済	⇒	☐ ① 予算規模は現状維持とする ☒ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	今後も継続して、安定的に本市の芸術文化の拠点としての機能を発揮できるよう、施設・設備の状況を把握し、予防保全等を図る。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	大規模修繕事業は、施設ごとの条件が異なる上、修繕内容も年度ごとに大きく変動するため、同一基準による横並びの比較は馴染まないため設定しない。
----------------------	---